

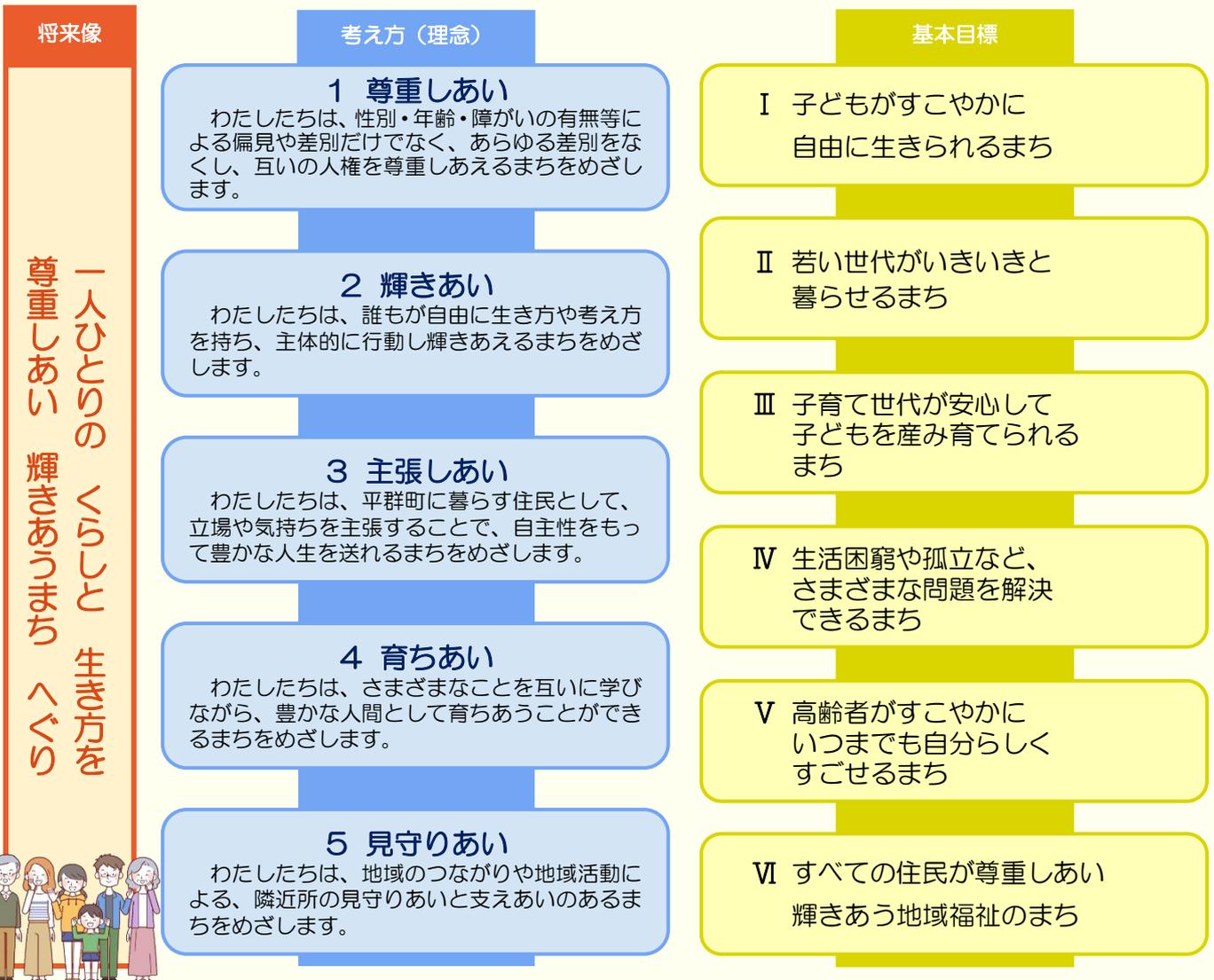
～ みんなの笑顔あふれる町に ～

地域福祉とは

人々の暮らしや地域のあり方が多様化し、人々が抱える課題が複雑化する中においても、住み慣れた地域で安心して安全に暮らし続けられるよう、行政・団体・住民等の地域で活動するあらゆる主体がお互いに協力して課題の解決に取り組むという考え方です。



施策体制図



わたしたちは地域で日々暮らしていく中で、子ども期、若者期、子育て期、高齢期といったライフステージの違い、障がいの有無、生活困窮の程度等によって、さまざまな問題や悩みに直面します。個人の力（自助）では解決できない生活課題や悩みが生じたとき、誰もが安全に安心して生活していくことができるよう、行政をはじめとする公的機関は各種のサービスの充実を図ってきました（公助）。

しかし、支援を必要とする人の増加やニーズの複雑化・多様化等により、公助だけではそれらのすべてに対応することが難しくなっています。そのため行政と住民や地域が協働し共に助けあい、支え合う（共助）ことによって、問題解決できる地域社会の構築が求められています。

